獨協医科大学
看護師募集案内

Dokkyo Medical University

- 獨協医科大学病院
- 獨協医科大学埼玉医療センター
- 獨協医科大学日光医療センター

Dokkyo Medical University

Dokkyo Medical University

獨協医科大学は国内初の女性看護人が生まれた医療の先進地「壬生町」に立地

2023年の創立50周年を機に
次なる50年「NEXT50」の飛躍に向け
新たな創造と改革に取組んでいきます

獨協医科大学が立地する壬生町は栃木県の県央南部、宇都宮市の南側栃木市の北側に位置しています。

○6～7世紀頃には多数の古墳が築かれるなど、古代から栄えた地域
○江戸時代には、壬生藩の城下町、日光西街道の宿場町として栄え、蘭学も隆盛
○現在は、首都圏に近い立地を活かし、おもちゃ団地を始めとした工業団地が整備され、農業ではかんぴょう・いちごなどの生産が盛んな町

実は「医療の先進地」

江戸時代の壬生藩は、宿場町で、
徳川歴代将軍が日光東照宮を参拝する際の宿泊地

→将軍滞在中の健康管理にも万全を期す必要から、西方医療を積極的に取り入れた
→ 天保11年(1840年)、関東諸藩では初めての学術的「解剖図」が藩医により作成

日本初の女性看護人が誕生したのも壬生町

時はあたかも江戸時代から明治時代に大きく変わろうとしていた慶應4年(1868年)、戊辰戦争が始まり、下野安塚の戦いにおいては壬生城周辺でも多数の死傷者

→その治療に当たるため、同年4月24日に「銃創看病人」として地元の女性9人が採用されたこの女性たちこそが国内初の女性看護人となったといわれています。

女性看護人 国内初は壬生

官軍の野戦病院 明治元年に採用

獨協医科大学

獨協医科大学病院

Dokkyo Medical University

獨協医科大学と三つの病院

獨協医科大学の源流は「獨逸学協会」です。明治維新以降、欧米諸国の文化・文明を吸収し、いかに迅速に近代化を進めるかが喫緊の課題であり、当時のドイツ帝国への長期留学経験者有志により、明治14年(1881年)に設立されました。2年後には「獨逸学協会学校」が開学、その後、長い年月を経て昭和39年(1964年)に獨協大学が、さらに、昭和48年(1973年)に、獨協学園の悲願であった医科大学として獨協医科大学が開学しました。

そして、その翌年に大学病院が開院(24診療科、850床(現在; 33診療科、1,195床))し、平成22年(2010年)にはドクターヘリの運航を開始するなど、県内はもとより、広く近県の地域医療、高度急性期医療の担い手としての役割を果たしています。

また、首都圏のベッドタウンとして、人口増加が著しい埼玉県越谷市への新病院設置が検討され、昭和59年(1984年)に獨協医科大学越谷病院(現;埼玉医療センター) が開院(14診療科、237床(現在; 27診療科、928床))し、埼玉県の東部はもとより同県内全域の医療拠点として、地域医療の質の向上に貢献しています。

さらに、広大な面積と高い高齢化率を特徴とする栃木県の西部地域において、栃木県や地元の関係団体などからの強い要望により、「珪肺労災病院」の移譲を受けて、平成18年(2006年)に獨協医科大学日光医療センターとして開院(8診療科、50床(現在;21診療科・1診療所、199床))し、本学では初めて電子カルテを導入するなど、地域の中核病院となる最先端の「大学病院」としての役割を果たしています。なお、日光医療センターは、令和5年(2023年)1月に日光市森友(土沢IC近く)に移転新築し、地域の中核病院としての機能を更に拡充しました。

獨協医科大学の三病院は、本学の4つの「建学の理念」を念頭に、中でも「地域社会の医療センターとしての役割の遂行」を実践すべく、高い専門性と倫理観を併せ持った人間味あふれる医療人を育成するとともに、各病院の特性を活かしこれに貢献しています。
また、本学の創立50周年を機に、次なる50年に向けこれまで以上に「教育・研究・診療の質の向上」と地域医療への貢献を目指して参ります。

獨協医科大学埼玉医療センター

獨協医科大学日光医療センター

― 教育制度 ―

獨協医科大学三病院は、看護職キャリアシステム（三病院共通教育制度）を基に、各病院の特徴を活かした教育プログラムを組み合わせて人材育成を行っています。

三病院の教育理念は獨協医科大学病院「共育」、埼玉医療センター「人として、プロとして、共に成長」、日光医療センター「対話と自律、そして相互成長」であり、夢を持ち続ける看護師を目指し、教育する・教育を受ける両者が成長できることを表しています。

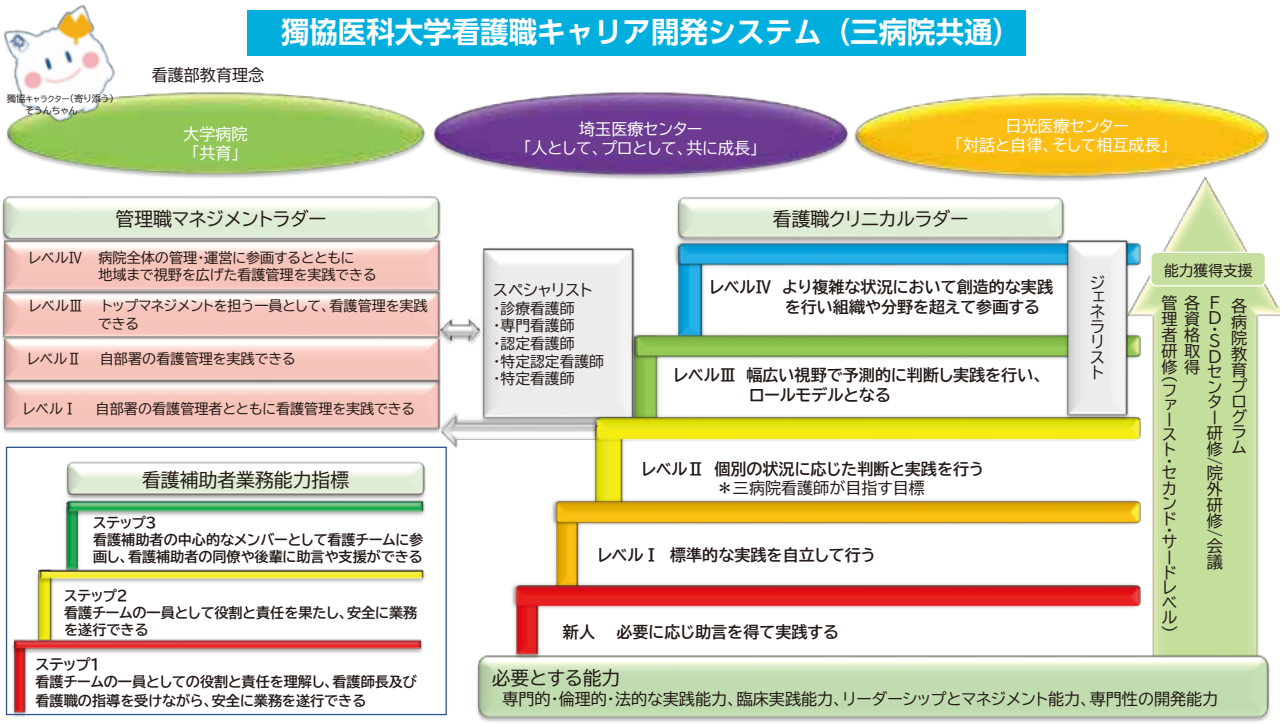
教育プログラムは三病院合同、個々の成長や希望に沿う、資格取得、進学等の院内外の研修受講、学修からキャリアアップ支援を行っています。

共通教育制度

―獨協医科大学看護職キャリア開発システム（三病院共通教育制度）―
獨協医科大学病院・埼玉医療センター・日光医療センター

看護職クリニカルラダーの段階に沿い、新卒者入職後の「新人」から「レベルⅣ」まで看護の核となる実践能力獲得のための支援をしています。レベルⅢからは個々の看護職のキャリアアップのためのジェネラリスト、スペシャリスト向けの専門・特定行為・認定看護師等の受講を支援します。管理者向け管理職マネジメントラダーは、ジェネラリスト、スペシャリストも受講可能です。

看護補助者業務能力指標は、看護チームの目標達成に向けて、安全な役割遂行と看護の質を担保する段階的指標であり、看護補助者の育成に活用しています。



三病院看護部統括者　挨拶

獨協医科大学
三病院看護部統括者
藤 井 洋 子

確かな成長から充実の看護・心豊かな日々を築きましょう

私達は、看護職キャリア開発システム(三病院共通)受講、院外研修・学会等に参加し看護の核となる実践能力の獲得と専門性を高めています。三病院間の人事交流や希望の異動はクリニカルラダーレベルの変更なく受講可能であり、個々の学習成果を継続しています。また、本学教職員の成長を促す「FD(Faculty Development)・SD(Staff Development)センター」と地域と協働する「地域共生協創センター」の多彩な研修受講を推奨し、専門領域の資格取得者が多数活躍をしています。看護学部編入、助産コースや大学院等の進学は、臨床継続や臨床に戻る環境を整えています。

地域から求められる医療・看護を確かな提供に自信と誇り・優しさを持ち、患者さん、地域の医療職者や住民の方からの信頼を大切にしています。私達と共に看護の喜びや成長を共有できる豊かな日々を取り組んで頂ける皆様をお待ちしております。

獨協医科大学の教育・人材育成研修

FD・SDセンター（Faculty Development・Staff Development Center）

For society　全ての教職員の成長を計画的・継続的・組織的に支援します

FD・SDセンターの研修（スキルアップ研修）

- 実習指導者講習会
- 入退院支援看護師養成・多職種連携講習会
- 医療安全管理者養成講習会
- 教育セミナー
- ICLS（Immediate Cardiac Life Support）
- ハートセイバーCPR AEDコース
- ファミリー＆フレンズCPRコース
- BLSプロバイダーコース
- RQI（蘇生の質改善コース）
- セデーションオンラインコース

【研修等の様子】

■実習指導者講習会

授業の一部から～　一卵は立つ一
感動体験や達成感を味わえ、表現欲求を掻き立てやすい授業

■Heart Code BLSコース

新人看護師の研修で受講するコース

■入退院支援看護師養成講習会

患者さんの入院時から退院後の生活を想像して支援を考える

地域共生協創センター（Center for Collaborative Creation and Collective Innovation）

地域住民と本学の教職員、学生の3者が協働して地域の課題解決に取り組む地域連携・貢献事業や学び直しを支援するリカレント教育、保健・医療・福祉専門職者のキャリア発達・開発支援に取り組んでいます。

地域共生協創センターの事業

【地域連携・貢献】
【リカレント教育】
【キャリア発達・開発支援】

- 健康教育講座（公開講座）・学生ボランティア活動支援・講師派遣
- 専門職者リカレント研修・メディカルリレーション研修・主任介護支援専門員法定外研修
- 認定看護師教育（感染管理・新生児集中ケア）・看護師特定行為研修
- 看護師及び看護学生のキャリア相談、キャリアガイダンス

【研修等の様子】

■地域連携プロジェクト

■地域企業職員の病院研修

■認定看護師教育課程

この他にも、本学では、大学院看護学研究科専門看護師(CNS)コースや助産学専攻科等を設置するなど、本学教職員を含めた人材育成に力を入れています。

獨協医科大学病院

ホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/

■開設　1974年(昭和49年)7月14日
■病院長　麻生好正
■看護部長　小松富恵
■所在地　栃木県下都賀郡壬生町北小林880
■病床数　1,195床(一般1,153床/精神42床)
■職員数　2,885名
■看護職員数　1,412名(有資格者1,249名/補助者163名)
■外来患者数　2,053名(1日平均)
■入院患者数　936名(1日平均)

■診療科目：33科
心臓・血管内科／循環器内科,消化器内科,血液・腫瘍内科,腎臓・高血圧内科,脳神経内科,内分泌代謝内科,呼吸器・アレルギー内科,リウマチ・膠原病内科,精神神経科,皮膚科,放射線科,小児科,健診センター,麻酔科,病理診断科,総合診療科,上部消化管外科(一般外科),下部消化管外科(一般外科),肝・胆膵外科(一般外科),小児外科,心臓・血管外科,呼吸器外科,脳神経外科,整形外科,泌尿器科,眼科,耳鼻咽喉・頭頸部外科,産科婦人科,口腔外科,リハビリテーション科,形成外科・美容外科,救急・集中治療科,乳腺科

■センター
救命救急センター,認知症疾患医療センター,総合周産期母子医療センター
消化器内視鏡センター,呼吸器内視鏡センター,血液浄化センター等27のセンター

病院長 看護部長 挨拶

病院長
麻 生 好 正

最先端の先進的医療と患者さんを中心とした医療を提供する特定機能病院

獨協医科大学病院は、1,195床を有する北関東最大級のメディカルセンターである、高度な医療を提供し、高度急性期病院の役割も果たしている特定機能病院です。

また、ドクターヘリを有し、三次救急病院として地域医療にも大きく貢献しています。

当院は、専門性の高い看護を目指すために特定行為看護師・認定看護師の育成に積極的に取り組むとともに、患者さんを中心とした、寄り添う看護をモットーにしております。大きな病院ですが、全職員のチームワークは良くアットホームな雰囲気で働きやすい環境です。

患者さん・ご家族の皆さんはもとより、地域の皆さんから信頼され感謝される日本一の病院を目指して、多職種協働の中での看護師として、私たちの仲間になって働いてみませんか。

心よりお待ちしております。

看護部長
小 松 富 恵

日本初の看護人が誕生した歴史ある壬生町で一緒に働きませんか。

1868年に日本初の女性看護人が誕生した壬生町に、1974年獨協医科大学病院が設立され2024年に創立50周年を迎えました。時代の変革に合わせて看護部の理念・目標を掲げ患者中心の看護を提供してきました。その経過の中で大学病院の看護師としての自信と誇りが高められ、患者さんに信頼される看護師が育っています。

『共に育ち共に育てる』という教育理念のもと、集合教育や部署内教育など多くの学びの機会があり、段階別・役割別プログラムにより個人の能力に合わせてステップアップできる教育システムです。先輩看護師が責任をもって新人看護師をサポートし、部署内スタッフ全員で成長を見守っています。

進学の支援も行っており専門看護師・認定看護師・特定行為看護師の資格取得も可能です。看護人が誕生した歴史のある壬生町で、勤務しやすい支援体制が整っている大学病院で一緒に看護を行ってみませんか。

特定機能病院として、地域医療と臨床教育の中心的役割を担います。

「森の中の病院」と呼ばれるほど緑あふれる好環境に立地し、高度医療を提供する特定機能病院です。地域医療の中核として認知症疾患医療センターや総合周産期母子医療センターを併設し、さまざまな疾患に対応するとともに、がん医療最新鋭の設備を備えたPETセンターなどの大型先進医療機器の充実により、北関東圏の医療をリードしています。

看護部理念

● 看護倫理の徹底 ● 高度で良質な看護の提供 ● 看護の専門性の追求
● 地域の特性にあわせた継続看護の充実 ● 信頼される看護職員の育成

看護部の求める看護師像

1. 看護の専門性を追求できる看護師
2. 高度先進医療に対応できる看護師
3. 安全管理ができる看護師
4. 組織人としての役割遂行ができる看護師
5. 感性豊かな看護師

教育理念 共育 共に育ち、共に育てる

新人看護職員教育研修

集合教育

ラダー新人の到達目標
必要に応じ助言を得て実施する

4月オリエンテーション
・組織・看護体制の理解・多職種の理解
・社会人基礎力・接遇マナー・コミュニケーション・看護倫理
・感染対策・手指消毒・ガウンテクニック
・医療安全・RRS・フィジカルアセスメント・移送・酸素投与
・薬剤・輸血・臨床検査・栄養管理・ポジショニング
・ME機器・記録・重症度、医療看護必要度・夜勤勤務の心得

部署教育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	・1か月フォローアップ		・メンタルヘルス ・災害看護			・一次救命処置（BLS）	・多重課題			・私の看護エピソード	

●部署の特殊性を理解
先輩看護師と共に学ぶ
●清潔衣生活援助技術
●看護記録

●部署の対象患者に沿った看護実践
スキンケア・認知症看護・口腔ケア・NST摂食嚥下・静脈注射
●医療安全・感染対策
●多職種の理解と協働　●多重課題

Message

ドクターヘリフライトナース

フライトナースは、救急医療や航空医療、災害医療において高度な専門性が求められます。ドクターヘリが要請された時点で、傷病者の多くは重症です。私たちフライトナースの活動は、一刻一刻と変化する病態や環境への即応性、家族や関係者への看護展開など役割は多岐にわたります。私たちの手技一つで傷病者の予後に影響してしまいます。傷病者が1分、1秒でも早く根本的治療が受けられるよう強い責任感を持って働いています。栃木県ドクターヘリは、運航開始から15年を迎えました。これからも安全運航につとめ、栃木県の救急医療に貢献していきたいと思います。

がん看護専門看護師

がんと診断された患者さんは大きな衝撃を受け、心身ともにストレスを抱えながらも懸命にがん治療と向き合っています。さまざまな段階で重大な局面を迎える患者さん・ご家族の思いに寄り添い、一緒に考えながら悔いのない選択ができるように支援をしています。身近に相談できる存在として、共に笑ったり、辛さを共感したりしながら、一緒に歩んでいけるよう、チームで協働していきたいと思います。

認知症看護認定看護師

超高齢社会において、認知症患者は増加しています。入院という不慣れな環境は、認知症患者にとって混乱を招きやすく、認知症の行動・周辺症状を悪化させやすい状態です。認知症患者やその家族に寄り添い、その人らしさを失わず、意思を尊重した生活が送れるよう、多職種と共に考え安全な療養環境が整うよう支援しています。

特定行為看護師

特定行為看護師は、それぞれが取得した特定行為を、手順書に従って実施することができます。看護師ならではの視点を活かして、日々変化する患者の状態を的確に評価し、患者が求めている医療ケアをタイムリーに行うことが大切です。患者の背景や気持ちに寄り添いながら、専門性を発揮することができる特定行為看護師は、診療の補助という立場にとどまらず、看護師としての専門性を大いに発揮できると感じています。当院が推進しているチーム医療においても、重要な役割を担っているという責任感は、やりがいにもつながっています。医学と看護の両方の視点を持つ特定行為看護師となって、看護師としての活躍の幅を広げてみませんか。

楽しく丁寧な新人看護師研修

実際の看護の現場を体験してみませんか? オープンホスピタル等の照会・申し込みは、こちらまで
https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/recruit-nurse/entry/#form

獨協医科大学病院

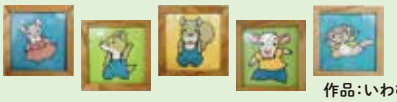
PRポイント

救命救急センター

フライトナースとして研修後の看護師が活躍

栃木県では、当院を基地病院として2010年1月からドクターヘリの運航を開始し、16年目に入りました。救急隊からの要請を受けて出動し、必要な初期治療を行いつつ、医療機関へ搬送します。看護部では、当院独自の基準による研修を修了したフライトナース13名が活躍しています。

とちぎ子ども医療センター



作品：いわむらかずお氏

子ども医療センターは、3階南病棟、センター棟3階病棟、子ども医療センター外来（小児科・小児外科）で構成されます。

3階南病棟は小児科、センター棟3階病棟は小児科・小児外科、その他の外科系診療科の患児を対象とする小児病棟です。急性期から慢性期、在宅医療が必要な患児の退院支援など、外来や総合周産期医療センター、地域等と連携を図っています。また、保育士による保育や院内学級での学習支援など、退院後も安心して過ごすことができるよう他職種と協働し、継続した支援をしています。

手術部

目指せ！スペシャリスト！

手術部では、18の部屋で1日に約40件の手術に対応し、年間9000件以上の手術を実施しています。

大学病院ならではの様々な診療科があり、専門的知識や技術を習得することができます。

術中麻酔管理に関する特定行為を取得し活躍しており、更なるスキルアップも目指すことができます。

毎年、新人看護師さんを迎えており、安心して独り立ちできるよう支援を行っています。

デジタル技術を導入し看護DXの実現

スマート・ホスピタル構想の実現に向け、スマート化を推進し、ナースコール連携システムやスマートベッドシステムの導入、スマートフォンの有効活用により安定かつ効率的に医療を提供できる体制を整えています。

◀スマートフォンの活用

バイタル登録機能▶

勤務体制

日 勤	8:00～16:30（日勤8時間） 12:00～20:30（日勤午後8時間） 8:00～20:30（日勤12時間）
夜 勤	20:00～8:30

2交代勤務
長く健康で働き続けるために夜勤を12時間に変更しました。

【看護体制】
入院基本料１　7対1
看護職員夜間配置加算12対1

【看護方式】
固定チームナーシング
機能別看護
など部署の特殊性にあわせて選択しています。

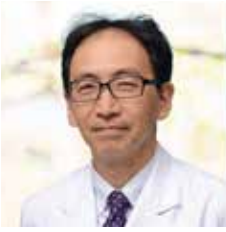
獨協医科大学
埼玉医療センター

ホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-s/

■開設　1984年(昭和59年)6月21日
■病院長　町田繁樹
■看護部長　髙橋久美子
■所在地　埼玉県越谷市南越谷2-1-50
■病床数　928床
■職員数　2,377名
■看護職員数　1,156名(有資格者1,042名/補助者114名)
■外来患者数　1,892名(1日平均)
■入院患者数　763名(1日平均)

■診療科目：27科
糖尿病内分泌・血液内科，呼吸器・アレルギー内科，消化器内科，循環器内科，腎臓内科，脳神経内科，小児科，こころの診療科，皮膚科，放射線科，総合診療科，外科，乳腺・内分泌外科，整形外科，心臓血管外科，呼吸器外科，産科婦人科，眼科，耳鼻咽喉・頭頸部外科，脳神経外科，泌尿器科，形成外科，救急医療科，集中治療科，麻酔科，歯科，リハビリテーション科

病院長 看護部長 挨拶



病院長
町 田 繁 樹

地域医療に貢献する看護師を目指して

当センターは、埼玉県東部の越谷市に位置し、東南部地区の人口200万人の健康を守る中核病院としての役割を担っています。JR南越谷駅と東武鉄道新越谷駅に隣接し、アクセスに恵まれており、非常に多くの患者さんが受診します。2017年には新棟が竣工し、現在までに928床の病床数を有し、県内最大規模の病院となりました。また、22室の手術室と最新鋭の手術設備を備え、質の高い医療を患者さんに提供しています。

このように、質の高い安全な医療を多くの患者さんに提供し地域医療に貢献することが我々の使命です。そのためにはチーム医療は不可欠で、レベルの高い看護師の存在が必須です。看護師の皆さんは、地域医療への貢献を誇りに感じ日々頑張っています。働きやすい環境を整え、地域に貢献できる医療を皆さんとともに推進することが病院長の役目と考えています。

看護部長
髙橋　久美子

おもいを持って目指す看護を実践しましょう！

皆さんはどのような看護師や助産師になりたいですか。当センターの看護職員には「こんな看護師・助産師になりたい」「こんな看護がしたい」というおもい〔思い・想い・念い〕を大切にしてほしいと思います。新人看護職員にもおもいを持って、実現のために成長してほしいと考えています。そのような願いから、2年間の新人教育プログラムと職場適応支援を準備しています。

当センターは、埼玉県東部地域の急性期医療を担う病院であり、仕事は忙しいのが日常です。忙しい中でも患者さんの想いや望みを叶えるために医療チームが協力して医療を提供しています。職員の満足度調査で最も満足度が高かった項目は「同僚との関係」でした。

私たちと一緒に看護をしませんか。

埼玉県東南部地域の基幹病院として、急性期はもちろん在宅医療までもカバーしています。

病院完結から地域完結へ。生まれたてのこどもからお年寄りまで、急性期から在宅医療まで、幅広く地域医療に貢献、地域をリードする中心的病院です。救命救急センター、周産期母子医療センターを併設し、がん拠点病院、災害拠点病院として地域から信頼を得ています。手術室22室を有し、術中CT撮影可能な設備やハイブリッド手術室などがあり、最新の手術設備が整っています。

看護部理念

その人らしく生きることを支える

私たちは、看護部理念を実現できるよう『倫理観の基づく実践』、『対話を大切に寄り添う』、『はたらくことを支える学び』、『専門職として独立と協働』を基本方針とします。

看護部が求める人材

- 人として、看護職としての倫理観がある（優しい・誠実さをもつ）
- 社会人として自律できる（社会性があり、組織人として振る舞いができる）
- 他者との協働ができる（コミュニケーションが取れ、人間関係構築ができる）
- 自己の成長に向けて努力できる（レジリエンス・向上心・学ぶ姿勢がある）

教育理念　人として、プロとして、共に成長

新人看護職員教育研修・支援

適応支援

新人看護職員の達成目標
1．社会人としての職務姿勢と部署の一員としての役割と責務に基づき行動できる
2．助言を得てエビデンスに基づいた看護実践ができる

- 集合オリエンテーション：●病院概要 ●就業規則 ●継続教育 ●災害対策 ●医療安全 社会人基礎力 接遇マナー
- ワークショップ：看護師として働く 自分の生活確認
- 各部署 リフレクションCafe
- ワークショップ：心身のれフレッシュをはかる 自己課題解決の糸口を掴む
- 各部署 リフレクションCafe
- ワークショップ：自己の傾向を知り、チームの一員として働くことを考える
- ワークショップ：1年間の成長確認 次年度の目標の明確化

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

集合・部署教育

- ラダーI研修：●医療安全I（事故防止・感染管理）●看護倫理I
- 基礎看護技術：●保清ケア ●褥瘡予防 ●皮下注射 ●オーラルケア
- ●多重課題
- ●フィジカルアセスメント ●輸血療法
- ●急変時対応（一時救命処置）
- ●臨床判断（看護過程）
- ●対象理解
- ●医療安全教育II
- ●看護理論 ●看護倫理

Message

生命を救い生活を支える、救急看護の役目

救命救急センターは、初期治療室・ERICU・救命病棟で構成され、超急性期から回復期までにわたる患者への看護実践を行なっています。救急看護の領域では時と場を選ばず、多種多様な疾患且つ様々な発達段階の患者とその家族が対象となります。生命に直結し緊急を要する場面が多く、瞬時の判断力と決断力が求められるため日々緊張感を持って仕事をしています。一方で生命の危機的状況にあった患者の回復過程を見守れること、笑顔で退院や転院する姿を見られることにやりがいを感じています。全身状態が不安定な患者も多く緊張感のある現場ではありますが、救急医療のチームの一員として切磋琢磨し、看護師として一緒に成長していきましょう。

救命救急センター　DMAT隊員

スキルアップし専門性を活かす

22部屋ある手術室では年間１万件以上の手術に対応しています。初めは指導者とともにマンツーマンで手術看護を行い、経験を重ね徐々にスキルアップできる環境があります。私はスキルアップのひとつとして、看護師特定行為研修を修了し手術室で活動しています。その中で特定行為の実践能力向上だけではなく、特定行為の先の看護について深く考え行動するようになりました。手術中の患者の代弁者となり、円滑に手術が進むように多職種と協働する手術室はとてもやりがいがあります。知識や思考・実践能力を高め、より患者のための看護実践を一緒に目指していきませんか

手術室　特定行為看護師

大学病院から在宅訪問へ

在宅医療部門では、急性期での治療を終えた後も、患者さんが住み慣れた自宅で安心して療養生活が送れるように、地域と連携しながら「訪問診療」「訪問看護」を提供しています。在宅医療は、病気や障害があっても、治療を受けながら住み慣れた家でその人が望む生活を実現することができます。私たちは、ひとりひとりと向き合い、病気や治療だけではなく、その人自身に寄り添い「その人らしい、望む生活」を支えていきます。そこには、在宅だからこそ感じることができる、人の温もりや喜びがあり、看護の力を最大限に発揮できる場でもあると思います。治療から生活を、看護でつなぎ支える醍醐味を皆さんも感じてみませんか。

総合患者支援センター・在宅医療部門　訪問看護師

母となり、助産師として

私は、看護師として臨床に出たあと大学へ編入し、助産師の資格を取得しました。その後、妊娠、出産を経験し、ひとりの女性として“新米ママ”と“助産師”の両立をしています。当院は周産期母子医療センターとなり、これまでよりもハイリスク妊産婦が増えました。どうすれば安全に妊娠を継続できるのか、出産後はお母さんと生まれたこどもの両方が、安全で安心な暮らしをするにはどう地域と連携すればいいのかを考え支援しています。そんな時“新米ママ”としての自分の暮らしも活きているな、と感じます。今後も妊産褥婦とその家族に寄り添っていきたいと思います。

周産期母子医療センター　助産師

実際の看護の現場を体験してみませんか? オープンホスピタル等の照会・申し込みは、こちらまで
https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-s/recruit-nurse/entry/#form

獨協医科大学 埼玉医療センター

PRポイント

まずは、どんな領域でも通用する一人前の看護師になる

働くということは、一人前の看護師に向かって、一歩を踏み出すということ。どこではじめの一歩を踏み出すか。採用面接時には希望の部署を伺います。どの病棟でも、新しい仲間を迎える支援体制の準備は万端です。

現場で使える院内教育研修プログラム—実践で活きる研修—

院内研修は、クリニカルラダーに則りプログラムされています。重点を置いているのは「実践力アップに役立つ」ということ。現場で使えなきゃ意味がない、だから集合でなく現場で、その現場の特徴をふまえた演習を取り入れ、実施しています。

看護師としての自分のキャリア、どうしよう

当院では、働き始めた2年目に、違う病棟に1か月研修に出る“ローテーション研修”を行っています。そのタイミングだからこそ見える景色、わかることがある。埼玉医療センターのこだわりです。

新人看護師への職場適応支援

当院では、充実した教育プログラムとともに、職場適応支援にも力を入れています。先輩看護師の失敗(経験)談を聞いたり、自分の行った看護の振り返りを通して学びを深める「リフレクション・カフェ」や、他部署の新人看護師との交流を通して社会人基礎力の育成を目指す「ワークショップ」を開催しています。新人看護師が一日でも早く職場に適応できるようサポートしています。

勤務体制

日 勤	8:30～16:40(日勤8時間) 12:30～20:40(日勤午後8時間) 8:30～20:45(日勤12時間)
夜 勤	20:30～8:45

2交代制です。
特徴は、夜勤が12時間であることです。
夜勤開始時間である夜8:30までは、自分の時間です。
その日の日中をゆったりと過ごすも良し、趣味や勉強など
充実したプライベートを過ごすも良しです。

【看護方式】
固定チームを基本としたチームナーシング
PNSなど部署の特殊性にあわせて選択をしています。

獨協医科大学
日光医療センター

ホームページ https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/

■開設　2006年(平成18年)4月1日
■病院長　山口　悟
■看護部長　小倉佳子
■所在地　栃木県日光市森友145-1
■病床数　199床
■職員数　497名
■看護職員数　286名(有資格者246名/補助者40名)
■外来患者数　470名(1日平均)
■入院患者数　184名(1日平均)

■診療科目：21科・1診療所
呼吸器内科，消化器内科，心臓・血管・腎臓内科，循環器内科，脳神経内科，糖尿病・内分泌内科，膠原病・アレルギー内科，皮膚科，放射線科，病理診断科，外科，呼吸器外科，心臓・血管外科，整形外科，脊椎センター，泌尿器科，形成外科・美容外科，麻酔科，眼科，救急・総合診療科，リハビリテーション科，三依診療所

病院長 看護部長 挨拶

病院長
山口　悟

地域医療の中核として、地域住民のための医療を提供します

当センターは、2023年1月に移転新築し最もスマート化が進んだ病院に生まれ変わりました。大学病院としての特性を生かし、かつ国際観光都市日光の基幹病院として、最新の医学技術と最先端の医療機器を備え、地域が求める急性期医療と高度医療、そしてリハビリテーションを切れ目なく提供します。医療レベルと事務対応レベルを整えて、国内外からの患者様に満足して頂けるような医療サービスを提供できる施設を目指しています。

このような中で、常に患者様に寄り添い看守り、的確な医療サービスを一緒に提供する看護師の役割はとても重要で、皆様には多職種連携でのチーム医療の仲間として大いに期待しております。

医療スタッフが患者様やその家族と真摯に向き合い、患者様が元気になって満足して帰っていただけることが私達の喜びです。そのため、医療スタッフ教育には力を入れています。新入職の看護師の方には、教育や研修を通じてしっかりと無理なく勉強し続けられる環境を整えています。また各種認定看護師や特定行為看護師も数多く誕生しています。皆様の新鮮な感性と湧き出る意欲を、是非この日光医療センターに向けてください。

夢の実現に向かって、私たちと一緒に働いてみませんか。お待ちしています。

看護部長
小倉佳子

相互成長と自立を目指して

私たちは、国際観光都市日光の「地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネット」における急性期を担う基幹病院として、他の医療機関と協同し、医療・看護を求める人々及び地域に思いやりの心をもって接し、安心・安全な看護の提供を目指しています。教育では「対話と自律、そして相互成長」を理念とし、お互いの価値観を認め合い共に成長していく教育環境を目指しています。新人教育は2年間をかけて、豊かな人間性と確かな技術を身につけられるよう、集合教育と日々の実践を通したプログラムを企画し実地指導者がサポートします。さらに、認定看護師や特定行為の学修など看護職全員のキャリアアップを支援しています。自然や歴史的文化遺産に囲まれた地域で、最先端のIT化を備え新設された病院で、共に看護に取り組んで頂ける皆さまをお待ちしています。

日光医療センターは令和5年１月に移転新築し、2年が経過しました。

平成18年に開設し、これまで国際観光都市である日光地区の医療を担う基幹病院として大きな役割を果たしてきた日光医療センターは、令和5年1月に移転新築し2年間順調に稼働しております。また、病院から徒歩5分圏内に新しい職員寮「ヴィラージュ日光」を併設しております。これまで以上に地域に求められる医療機関となるよう取り組んで参ります。

看護部理念

社会の信頼に応える基幹病院として、医療を求める人々に思いやりの心を持って接し、高度で良質な医療・看護を提供します。

基本方針

1. 一人ひとりの思いを大切にして、安全で安心できる質の高い看護を提供します。
2. 高度で先進的な看護を提供します。
3. 保健・医療・福祉との連携を図り、地域の人々の健康の回復・保持・増進に貢献します。
4. 看護職として自己研鑽に努め、人間性豊かな看護職を目指します。

求める看護師像

地域の人々に信頼される看護師

教育理念

対話と自律、そして相互成長
ーお互いの価値観を認め合い、自律して共に成長しようー

新人看護職員教育研修

集合教育

- 4月はオリエンテーションで
  - ●組織の理解
  - ●新人看護師の心構え
  - ●看護倫理
  - ●医療安全・感染対策
  - ●技術演習
  - ●フィジカルアセスメント
  - ●ローテーション研修
- ●医療ガスの取り扱い
- ●ナーシングスキルの活用方法
- ●看護過程と看護記録
- ●看護実践と基準手順
- ●糖尿病とインスリン
- ●薬剤の取り扱い
- ●検体の取り扱い
- ●マインドマップ（1年後の自分）
- ●専門職としての第一歩（院外）
- ●輸血療法
- ●救急蘇生法
- ●輸液ポンプ
- ●シリンジポンプ
- ローテーション研修
- ●VR（Virtual Reakity）研修
- ●マインドマップ（成長した自分）
- ●成果発表

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

部署教育

- ●ナーシングスキル
  - ・環境整備
  - ・行動制限
  - ・関節可動域訓練
  - ・針刺し防止対策と発生時の対応
- ●入院時作成する書類
- ●多重課題
- ●ナーシングスキル
  - ・膀胱留置カテーテル挿入
  - ・気管挿管の準備と介助
  - ・死後のケア語り合おう
- ●フィジカルアセスメント②（フィジカルエグザミネーション）
- ●チームでの協働看護過程②
- ●オンデマンド研修
- ●意思決定支援
- ●経験項目の確認と実践・評価
- ●まとめ

Message

認知症看護認定看護師

近年、超高齢化に伴い認知症患者も増加し、認知症患者と患者を支える家族、医療を提供するスタッフの苦悩は計り知れないものがあります。「認知症=大変である」という概念がある中、認知症看護認定看護師として医療スタッフ・地域と協力しあいながら活躍し、認知症患者と、患者を取り巻く人々から少しでも多くの笑顔が生まれ、「認知症=その人らしい生活ができる」となることを目標に、頑張っていきたいと思います。

糖尿病看護認定看護師

糖尿病は、生涯を通し患者さんが主体的に治療を継続していくことが重要です。
糖尿病看護では、糖尿病をもつ方を「生活者」と捉え、合併症の発症、進展を阻止し治療と生活との折り合いを見いだしながら、その人らしい生活調整を目指します。また、教育入院やフットケア外来、糖尿病透析予防指導など実施しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師

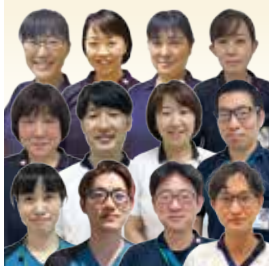
私の活動分野は、創傷や排泄に関わるところです。院内の活動は、褥瘡ケアでは「すべすべお肌」を心がけたストーマを持った患者さんはQOL向上をめざした指導を行い、患者会のサポートも行っています。また当センターでは、高齢者が多いため在宅ケアにも目を向け関わっています。

感染管理認定看護師

環境ラウンドやサーベイランス、感染講習や相談を行い、感染の早期発見やリスクの低減に努めています。感染対策は全員が正しく実践することでより成果を上げられます。職員全員、地域住民が感染症を予防・拡大なく過ごせるように関わっていきます。

慢性心不全看護認定看護師

心不全はあらゆる循環器疾患の果てに辿り着く病態であり、増悪と寛解を繰り返しながら終末期へ向かっていきます。そんな病と共に生きる患者さんとご家族の想いに寄り添いながら、「その人らしさ」を第一に様々な支援を行います。希望される治療や療養方法、これからの過ごし方についてなど一緒に考えていきます。



特定行為看護師

地域医療および高度医療が必要とされる中、医療チームの一員として活動しています。多職種と協働し、専門的知識を活かして患者さんの状態を見極めながら、手順書をもとに診療補助行為や看護を実践しています。チームの中心的役割を担いながら、患者さん・家族の一番身近な存在として、安心・安全な医療が提供できるよう努めてまいります。

実際の看護の現場を体験してみませんか? オープンホスピタル等の照会・申し込みは、こちらまで
https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/entry/#form

獨協医科大学 日光医療センター

PRポイント

新人看護師研修

災害拠点病院としての看護師の活動

DMAT隊は、その任務遂行への士気を高く持ち、看護師6名、医師、薬剤師、事務員で構成され、平時から準備・研修・訓練を重ねています。災害時における救助において、精神面のケアも含めた医療・看護の提供ができるよう活動に努めます。

働き方改革の一環として

2021年4月1日よりユニフォームを一新しました。また、夜勤者のユニフォームの色を変えて勤務の交代をスムーズにできるようにしています。日勤者は「白」夜勤者は「青」と変えることにより一目で勤務時間帯が分かるため、仕事の効率化や残業時間の削減となっています。

看護外来始めました

受 診 日：
月曜日～土曜日
予約制
(予約可能時間
15:00～16:00)

対　　象：
当院に通院、入院中の患者さんとご家族

場　　所：
2階　ラウンジ内
看護部相談室

予約方法：
外来･病棟看護師にお声がけください。

勤務体制

日勤	8:30～16:50
夜勤	16:30～8:50

2交代制勤務

【看護体制】

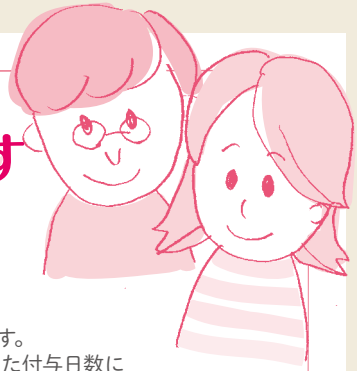
入院基本料2	10対1
看護職員夜間配置	12対1
急性期看護補助配置	25対1
夜間看護補助配置	100対1

【看護方式】
プライマリーナーシングの理念を取り入れた担当看護師制

【看護記録】
電子カルテ･看護支援システム　全病棟スマートベットによる遠隔入力
アミボイス音声入力、NANDA−I看護診断、PONR、クリニカルパス

Q & A

気になるあれこれを質問!



配属や今後のことが気になります

Q1 休暇(介護、結婚・産休・育休、忌引など)は?

共通 Answer

・休暇制度は三病院共通で、労働基準法に準じた規程があります。
また、勤務体制は「4週8休」で、年次有給休暇は、法令に準じた付与日数に本学独自の「フレックス休暇」(5日間)を加えています。このほか、冠婚葬祭時に必要な特別休暇制度もあります。
その他、出産や育児、介護に必要な休業・休職の制度も整っています。

Q2 職員寮は?

壬生 Answer

・敷地内に職員寮「ドミトリーさくら」があります。

埼玉 Answer

・「ホルトハイム」、「リーベンハイム」、「ドミトリーあおば」、「ドミトリーけやき」があります。

日光 Answer

・徒歩5分圏内に教職員寮「ヴィラージュ日光」があります。

Q3 配属(病院や診療科)の希望は出せますか?また、院内や院外の異動はあるのですか?

共通 Answer

・もちろん、配属希望は出せますし、なるべく希望に沿った人事を行っています。
大きな組織ですので、すぐには希望がかなわない場合もありますが、
上司とも事情等を十分に話し合い、お互いが納得できる方向性を見出します。
採用後の異動についても、本人の意向を尊重しながら、
適性を見極めた上での相談・助言なども行った上で、キャリアアップや、やりがい、
生きがいにつながるように支援いたします。

Q4 off-JT は、どんなものに参加できますか?

共通 Answer

・日本看護協会や栃木県・埼玉県看護協会主催の専門研修や、各種学会等に参加できます。
(研修によっては自己負担での参加となる場合もあります。)

Q5 専門看護師や認定看護師は、どの分野に何人くらいいるのですか?

・現在の状況は次のとおりですが、資格取得希望者には本学の「看護職キャリア開発システム」の中で、経済的な面も含めて支援しています。

壬生 Answer

・専門看護師　6名(がん、急性・重症患者、感染症、老人看護など)
・認定看護師　24名(救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、がん化学療法、認知症看護など)
・特定行為看護師　39名(呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連など)

埼玉 Answer

・専門看護師　2名(慢性疾患、精神看護)
・認定看護師　33名(集中ケア、がん化学療法、救急看護、訪問看護など)
・特定行為看護師　10名(呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連など)

日光 Answer

・認定看護師　8名(糖尿病看護、皮膚・排泄ケア、認知症看護、慢性心不全看護など)
・特定行為看護師　15名(呼吸器関連、動脈血液ガス分析関連、透析管理関連など)

Q6 進学はできますか?

共通 Answer

・基本的には可能です。(看護学部3年次への編入、大学院など)まずは上司に相談してみてください。

(注)各病院の名称は次のとおり略します。
獨協医科大学病院＝壬生　埼玉医療センター＝埼玉　日光医療センター＝日光

福利厚生はどうなっていますか?

Q7 ユニフォームはどんなものを着用するのですか?

共通 Answer
・三病院とも、人気の働きやすいパンツスタイル等を取り揃えており、病院からの貸与です。また、スクラブを導入している病院・部署もあります。

Q8 レクリエーションなどはありますか?

共通 Answer
・各病院で独自の企画をしており、ボーリング大会、よさこい、ハイキング、日帰りバスツアー、宿泊研修やリフレッシュ研修など、職場内のコミュニケーション活性化や相互研鑽などに役立っています。

Q9 保育所はあるのですか?

壬生 Answer
・敷地内に民間の認可保育施設「ステラ獨協前保育園」があります。この保育所は延長・休日保育、病後児保育等の事業も行っています。
・院内病児保育室「にじいろキッズ」(学生寮「ドミトリーいちょう」内)が平日昼間に利用できます。

埼玉 Answer
・職員寮内に(事業所内)保育所があります。24時間、病後児も対応しています。

日光 Answer
・認可保育所があります。

さあ、病院を見に行こう!

ご応募お待ちしております

看護師募集サイトはこちら

三病院とも、それぞれオープンホスピタルや病院見学会を開催していますので、詳しくは獨協医科大学のホームページ(看護師募集サイト)で確認してください。
なお、定期開催以外でも、個別に対応できる場合もありますので、各病院の連絡先まで、お気軽にご連絡ください。

獨協医科大学病院	TEL:0282-87-2395	https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/recruit-nurse/
埼玉医療センター	TEL:048-965-9104	https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-s/recruit-nurse/
日光医療センター	TEL:0288-23-7000 (代表)	https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/recruit-nurse/

Access Map

獨協医科大学病院

〒321-0293
栃木県下都賀郡壬生町北小林880
TEL：0282-87-2395

- 「浅草駅」から東武線約100分
  「浅草駅」から東武特急利用で「栃木駅」にて東武宇都宮線に乗り換え「おもちゃのまち駅」下車徒歩10分（駅西口バスにて3分）
- JR宇都宮線「石橋駅」タクシーにて15分
- JR宇都宮線「石橋駅」バス停で、ゆうがおバスに乗り換え約20分（石橋・獨協医大病院（終点）下車）
- 北関東自動車道（高速）壬生ICから3分

獨協医科大学 埼玉医療センター

〒343-8555
埼玉県越谷市南越谷2-1-50
TEL：048-965-9104

- 東武スカイツリーライン（東京メトロ日比谷線）
  「新越谷駅」下車　北へ徒歩3分
- JR武蔵野線
  「南越谷駅」下車　北へ徒歩3分

獨協医科大学 日光医療センター

〒321-1298
栃木県日光市森友145-1
TEL：0288-23-7000（代表）

- JR今市駅下車、JR下野大沢駅行き市営バスにて約15分　「獨協日光医療センター」下車
- 東武日光線下今市駅下車、JR下野大沢駅行き市営バスにて約10分「獨協日光医療センター」下車
- JR下野大沢駅下車、今市車庫行き市営バスにて約20分　「獨協日光医療センター」下車
- 東北自動車道「宇都宮IC」より日光宇都宮道路に入り「土沢IC」から国道121号線を北東方向に約5分